

氏名

(問題・答案用紙)

得点

/ 20

問題 当社は製品Xを量産し、製品原価の計算の方法は単純総合原価計算により行っている。次の【資料】にもとづいて、下記の問いに答えなさい。なお、原価投入額を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法として平均法を用いること。

【資料】

[生産データ]

月初仕掛品	800 kg (50%)
当月投入	<u>3,200</u>
合計	4,000 kg
差引：正常減損	200
月末仕掛品	<u>800</u> (50%)
完成品	<u>3,000</u> kg

(注) 原料は工程の始点で投入し、
()内は加工費の進捗度である。

[原価データ]

月初仕掛品原価	
原料費	1,600,000 円
加工費	<u>749,500</u>
小計	2,349,500 円
当月製造費用	
原料費	7,520,000 円
加工費	<u>7,573,700</u>
小計	15,093,700 円
合計	<u>17,443,200</u> 円

問1 正常減損は工程の終点で発生したものとして、その正常減損費をすべて完成品に負担させる場合の総合原価計算表を完成しなさい。

総合原価計算表

(単位：円)

	原料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	1,600,000	749,500	2,349,500
当月製造費用	7,520,000	7,573,700	15,093,000
合計	9,120,000	8,323,200	17,443,200
差引：月末仕掛品原価	()	()	()
完成品総合原価	()	()	()

問2 正常減損は工程の途中で発生したものとして、度外視法による場合の総合原価計算表を完成しなさい。

総合原価計算表

(単位：円)

	原料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	1,600,000	749,500	2,349,500
当月製造費用	7,520,000	7,573,700	15,093,000
合計	9,120,000	8,323,200	17,443,200
差引：月末仕掛品原価	()	()	()
完成品総合原価	()	()	()

問 題 当社は製品Xを量産し、製品原価の計算の方法は単純総合原価計算により行っている。次の【資料】にもとづいて、下記の問いに答えなさい。なお、原価投入額を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法として平均法を用いること。

【資料】

[生産データ]

月初仕掛品	800 kg (50%)
当月投入	<u>3,200</u>
合計	4,000 kg
差引：正常減損	200
月末仕掛品	<u>800</u> (50%)
完成品	<u>3,000</u> kg

(注) 原料は工程の始点で投入し、

()内は加工費の進捗度である。

[原価データ]

月初仕掛品原価	
原料費	1,600,000 円
加工費	<u>749,500</u>
小計	2,349,500 円
当月製造費用	
原料費	7,520,000 円
加工費	<u>7,573,700</u>
小計	15,093,700 円
合計	<u>17,443,200</u> 円

問1 正常減損は工程の終点で発生したものとして、その正常減損費をすべて完成品に負担させる場合の総合原価計算表を完成しなさい。

総合原価計算表

(単位：円)

	原料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	1,600,000	749,500	2,349,500
当月製造費用	7,520,000	7,573,700	15,093,000
合計	9,120,000	8,323,200	17,443,200
差引：月末仕掛品原価	(<u>1,824,000</u>)	(<u>924,800</u>)	(<u>2,748,800</u>)
完成品総合原価	(<u>7,296,000</u>)	(<u>7,398,400</u>)	(<u>14,694,400</u>)

問2 正常減損は工程の途中で発生したものとして、度外視法による場合の総合原価計算表を完成しなさい。

総合原価計算表

(単位：円)

	原料費	加工費	合計
月初仕掛品原価	1,600,000	749,500	2,349,500
当月製造費用	7,520,000	7,573,700	15,093,000
合計	9,120,000	8,323,200	17,443,200
差引：月末仕掛品原価	(<u>1,920,000</u>)	(<u>979,200</u>)	(<u>2,899,200</u>)
完成品総合原価	(<u>7,200,000</u>)	(<u>7,344,000</u>)	(<u>14,544,000</u>)

問 1

仕掛品－原料費

月初 [800kg] 1,600,000円	完成 [3000kg] 7,296,000円
投入 [3200kg] 7,520,000円	減損 [200kg]
	月末 [800kg] 1,824,000円

仕掛品－加工費

月初 (400kg) 749,500円	完成 [3000kg] 7,398,400円
投入 7,573,700円	減損 [200kg]
	月末 (400kg) 924,800円

問 2

仕掛品－原料費

月初 [800kg] 1,600,000円	完成 [3000kg] 7,200,000円
投入 [3200kg] 7,520,000円	減損 [200kg]
	月末 [800kg] 1,920,000円

仕掛品－加工費

月初 (400kg) 749,500円	完成 [3000kg] 7,344,000円
投入 7,573,700円	減損 [200kg]
	月末 (400kg) 979,200円

問題 X社は、同一工程で等級製品A, B, Cを連続生産している。製品原価の計算方法は、1か月の完成品総合原価を製品1個当たりの重量によって定められた等価係数に完成量を乗じた積数の比で各等級製品に按分する方法を採用している。

次の[資料]にもとづいて、当月の月末仕掛品原価、完成品総合原価、等級製品A, B, Cの完成品総合原価を計算しなさい。

なお、原価投入額合計を完成品総合原価と月末仕掛品原価に按分する方法には先入先出法を用い、正常仕損は工程の終点で発生したので、正常仕損費はすべて完成品に負担させる。この仕損品の処分価格はゼロである。(20点)

[資料]

1. 生産データ

月初仕掛品	400 個 (25%)
当月投入	<u>6,400</u>
合計	6,800 個
正常仕損	600
月末仕掛品	<u>200</u> (50%)
完成品	<u><u>6,000</u></u> 個

(注) 完成品はAが4,000個、Bが1,500個、Cが500個である。また、材料は工程の始点で投入し、()内は加工費の進捗度である。

2. 原価データ

月初仕掛品原価	
直接材料費	560,000 円
加工費	<u>180,000</u>
小計	<u>740,000</u> 円
当月製造費用	
直接材料費	5,120,000 円
加工費	<u>7,920,000</u>
小計	<u>13,040,000</u> 円
合計	<u><u>13,780,000</u></u> 円

3. 製品1個当たりの重量 (単位: g)

A	B	C
200	400	800

氏名 _____

(答案用紙)

得点	／ 20
----	------

月 末 仕 掛 品 原 価 = 円

完 成 品 総 合 原 価 = 円

等級製品Aの完成品総合原価 = 円

等級製品Bの完成品総合原価 = 円

等級製品Cの完成品総合原価 = 円

月末仕掛品原価 = 円

完成品総合原価 = 円

等級製品Aの完成品総合原価 = 円

等級製品Bの完成品総合原価 = 円

等級製品Cの完成品総合原価 = 円



